

氏名	柳川 敏彦(やながわ としひこ)
職名	教授
専門分野	小児科学、小児看護学、小児保健学
学歴	和歌山県立医科大学卒業
学位	博士(医学)和歌山県立医科大学
担当科目	(学部) 教養セミナー、身体の構造と機能、慢性病態学Ⅱ(小児)、病態栄養学、保健看護実習B(小児)、保健英語 (助産専攻科) 成育医療(大学院前期)病態生理学、発育・育成学特論、発育・育成学演習(大学院後期)健康管理論、母子保健看護学特論、後期特別研究
研究テーマ	1. てんかん、筋ジストロフィー、発達障害(自閉症、注意欠陥多動性障害など) 2. 子ども虐待、医療ネグレクト 3. ペアレンティング
所属学会	International Society for Child Abuse and Neglect (ISPCAN:国際子ども虐待防止学会) 日本小児科学会、日本小児保健学会、日本子ども虐待防止学会、日本小児神経学会、日本てんかん学会、日本公衆衛生学会、日本重症心身障害学会、日本小児感染症学会、日本学校保健学会、日本医学看護保健学会
研究業績	<p><著書></p> <p>1. 柳川敏彦:「日本における性虐待の現状と対応」第7章 性暴力における思春期の問題」子どもの性虐待に関する医学的評価—プラクティカルガイド マーティン・A.フィンケル、アンジェロ・P. ジャルディーノ(著)、柳川敏彦、溝口史剛、山田不二子、白川美也子(監訳) 診断と治療社、2013</p> <p>2. 柳川敏彦:「3. 児童虐待を発見したら」11. 児童虐待とその周辺」日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会・日本小児科連絡協議会ワーキンググループ編集、子育て支援ハンドブックチェック版、日本小児医事出版社、2011.</p> <p>3. 柳川敏彦:「児童虐待予防のために」トリプルP ～前向き子育て17の技術～加藤則子、柳川敏彦(編) 診断と治療社、2011年</p> <p>4. Yanagawa T, Jallo R: "Nutrition" Neurotrauma and Critical Care of the Brain. Jack Jallo, Christopher M.Loftus (Edit). Thieme, 2008 他15編</p> <p><論文></p> <p>1. 柳川敏彦:「治療拒否と医療ネグレクト」.周産期医学, 44(1),113-118, 2014</p> <p>2. 寺本ゆみ、柳川敏彦:「大学病院勤務の看護師における子育て支援への積極的アプローチ—小児科病棟の入院患者家族によるアンケート分析—」子ども虐待とネグレクト, 16(1)78-87, 2014</p> <p>3. 柳川敏彦, 平尾恭子, 加藤則子ら:「自閉症スペクトラム障害の子どもたちの家族のためのペアレント・プログラムの実践—グループ・ステッピングストーンズ・トリプルPの効果について—」子ども虐待とネグレクト,14(2)135-152, 2012</p> <p>4. 柳川敏彦:「子ども虐待の理解とその対応. ～総論～」医学的観点からみた子ども虐待～子ども虐待を理解し、実践的なかわりをめざして～. チャイルドヘルス, 14(10), 1520-1523, 2011.</p> <p>5. 柳川敏彦、宮本慎也、山本恒雄、磯谷文明:「医療ネグレクト」, 小児科. 51(4)477-485, 2010 他 70編</p>
メッセージ	<p><活動></p> <p>地域活動として、NPO法人和歌山子どもの虐待防止協会の事務局長として、子ども虐待の防止を呼びかけている。FM和歌山において虐待防止の「オレンジリボン」運動を紹介している。</p> <p><学生へのメッセージ></p> <p>子どもの持つエネルギー、すばらしさを様々な場面で、皆さんと一緒に共有したいと思っています。「子ども再発見」に興味のある方は、研究室の扉を開けてください。</p>
メールアドレス	tyanagaw@wakayama-med.ac.jp